

## 令和4年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰受賞者

氏名	現職等	推薦者	功績概要
おおさわ まり 大沢 真理	東京大学名誉教授	文部科学省	男女共同参画の視点から新たな研究分野を切り拓いて国内外の学界に影響を与え、その先端的な研究成果や幅広い識見により政府・公的機関等の政策や事業に貢献し、男女共同参画の促進をはじめ国民生活の改善に尽力した。
おがわ まりこ 小川 眞里子	三重大学名誉教授	三重県	三重県女性センター開館や三重県男女共同参画推進条例の制定に向けて尽力し、県男女共同参画基本計画改定・策定の中心的役割を担い、県施策の礎の構築、発展に大きく寄与した。また、国内外の研修者と連携し、女性研究者の活躍に向けた先進的な研究に取り組み、人材の育成にも尽力した。
きりき ようこ 桐木 陽子	愛媛県男女共同参画会議会長	愛媛県	愛媛県男女共同参画会議会長として、本県の第2次男女共同参画計画中間改定（平成28年3月）や第3次同計画策定（令和3年3月）に際し、同会議の議論を取りまとめ答申したほか、松山市男女共同参画推進財団理事長等を歴任し、県内の男女共同参画社会づくりの推進に尽力している。
すずき けいじゅ 鈴木 桂樹	熊本大学名誉教授	熊本県	熊本県、市の男女共同参画審議会等の会長を歴任し、条例、計画、農林水産分野のプラン策定等、男女共同参画を長年にわたり推進する第一人者である。地域リーダー育成、男性向け講座等の研修講師を多数務め、気運醸成に寄与し、男女共同参画社会実現に多大に貢献している。
たなか ゆみこ 田中 由美子	国連女性の地位委員会日本代表	内閣府	国連やJICAでの勤務を通じて、長年、ジェンダーと開発の分野や、災害リスク削減とジェンダーの分野における取組を通じて男女共同参画推進に貢献するとともに、世界における日本の取組発信にも尽力した。
たむら ようこ 田村 洋子	福井県連合婦人会会長	福井県	県・市の連合婦人会長、全国地婦連理事として、女性の地位向上や男女共同参画社会の形成に大きく貢献するとともに、県内の女性団体が加盟する女性財団の理事長として、体制強化や働く女性の活躍支援に尽力している。
ちしやき あきこ 樗木 晶子	九州大学病院臨床教育研修センターきらめきプロジェクト顧問	福岡県	福岡県男女共同参画審議会の会長として、第5次福岡県男女共同参画計画等の策定に係る審議会の意見を統括し、知事に答申を実施。長年に渡り、九州大学病院の医療人の出産・育児等による離職を防止、現場復帰を支援する「きらめきプロジェクト」を推進し、医療人の働き方改革と特に女性医師のキャリア支援等に尽力。
にいっ ゆき 新津 幸	南アルプスLOCO代表	山梨県	平成19年より「自主的で自律的なイベント行事を主体としたママたちの自立を促す活動」を始め、平成24年には「自然や文化、人や取り組み等の情報に着目し、女子クリエイターとしての目線で、地域経済を活性化し、人が集まり人をつなげる地域づくりに貢献する活動」を行っている。そうした彼女の魅力ある言動は、地域全体を盛り上げるコーディネーターである。
むろふし きみこ 室伏 きみ子	お茶の水女子大学名誉教授 元内閣府男女共同参画推進連携会議議長	内閣府 文部科学省	お茶の水女子大学長として世界で活躍する女性リーダーの育成と女子大学の特色を活かした大学経営を行うとともに、男女共同参画会議の有識者議員及び男女共同参画推進連携会議議長を務め、政策方針決定の場において幅広く連携して男女共同参画社会の形成の推進に尽力した。
やまさき かずこ 山崎 和子	特定非営利活動法人 女性参画研究会・さが 理事長	佐賀県	佐賀県における男女共同参画に関する各種委員を積極的に務め、政治参画意識を高める啓発活動、政策・方針決定過程への女性の進出支援に関する活動を行い、男女共同参画社会づくりの推進に寄与した。
わが ゆきお 和賀 幸雄	株式会社和賀組代表取締役	秋田県	長年にわたり湯沢市の男女共同参画に関する施策・事業の計画策定に尽力するとともに、企業経営者としても、地域の企業有志による「イクボス促進共同宣言」を行うなど、地域の旗振り役として、男女共同参画社会の実現に大きく貢献している。